

**KHKS 0861 高圧ガス設備等の耐震設計に関する基準（レベル1）及び  
KHKS 0862 高圧ガス設備等の耐震設計に関する基準（レベル2）の改正  
に対するパブリックコメント（意見募集）の実施について**

**— 2025年12月17日～2026年1月22日 —**

2025年12月17日  
耐震設計規格委員会  
委員長 盛川 仁

第7回から第9回の耐震設計規格委員会において、KHKS 0861 高圧ガス設備の耐震設計に関する基準（レベル1）及び KHKS 0862 高圧ガス設備の耐震設計に関する基準（レベル2）の見直しの検討を行い、この度、耐震設計規格委員会として原案を作成しました。公正、公平、公開の原則の観点から、広く一般の皆様からご意見をいただくため、パブリックコメントを実施することといたします。いただきましたご意見につきましては、耐震設計規格委員会で審議を行うことといたします。

つきましては、下記規格改正案に対しご意見のある場合には、実施要領に従い、書面（郵送又はFAX）若しくは電子メールでご提出下さい。

皆様からお寄せいただいたご意見につきましては、お寄せいただいたご意見を整理した上で当方の見解を公表することとしております。このため、お寄せいただいたご意見、氏名及び所属を公表する場合がありますことをご了承下さい。

**パブリックコメント実施要領**

**1. 規格案名**

KHKS 0861 高圧ガス設備の耐震設計に関する基準（レベル1）の改正案  
KHKS 0862 高圧ガス設備の耐震設計に関する基準（レベル2）の改正案

**2. 規格案検討要旨**

高圧ガス設備の耐震設計において、KHKS0862(2018)で初めて取り入れたサイトスペシフィック地震動については、現在、例示基準からは除かれている。サイトスペシフィック地震動による耐震設計を広く普及させることを目的として、令和4年度から令和6年度に経済産業省の委託事業においてサイトスペシフィック地震動の標準化検討が行われ、コンビナート地区については標準波が作成された。この標準波の適用方法に関する規定を KHKS0862 に追加し、サイトスペシフィック地震動を適用しやすくした。

また、KHKS0861(2018)及び KHKS0862(2018)は、昭和56年に制定された高圧ガス設備等耐震設計基準（以下、旧耐震告示）をもとに作成しており、最新の知見が十分に反映されていなかったことから、令和2年度から令和6年度に経済産業省の委託事業において実施された耐震基準の高度化検討の内容を踏まえて最新知見（地盤震動の影響を考慮した基礎の設計手法、平底円筒形貯槽の地震時動液圧の計算方法等）を反映した。なお、引用規格も最新のものとしている。

### 3. 意見受付期間

受付開始：2025年12月17日（水）

受付修了：2026年 1月22日（木）同日必着

### 4. 意見記入要領

- ①別添様式に従い、氏名、連絡先（住所、電話番号等）及び所属（会社名、団体名等）を必ず明記して下さい。意見を十分把握させていただくため連絡を取らせていただくこともありますので、漏れなく記入して下さい。
- ②ご意見については、1枚につき一つの意見及び理由を記入して下さい。
- ③ご意見の対象となる規格案の該当箇所を明記して下さい。
- ④電子メール等を利用して提出いただく場合、別添様式に記入していただく必要はありませんが、本要領に準じて必要事項は漏れなく記入して下さい。

### 5. 関連資料入手先

上記1. の規格案は本ページからPDF形式でダウンロードすることができます。

また、高圧ガス保安協会図書室で閲覧が可能です。この他、郵送による資料送付も行っておりますので、お問い合わせ下さい。ただし、資料及び郵送に係る費用をいただきます。

### 6. 個人情報の取り扱いについて

高圧ガス保安協会は、パブリックコメントの提出の際に氏名、住所、連絡先等の個人情報を収集します。

これらの情報は、パブリックコメントの審議、対応についてのご連絡以外には使用することはありません。なお、氏名及び所属に関しては、いただいたご意見とともに公表する場合がありますことをご了承下さい。

以上

問合先、意見提出先：

高圧ガス保安協会 保安技術部門

TEL：03-3436-6103

FAX：03-3438-4163

E-mail : hpg@khk.or.jp